

「病」と「厄災」をめぐる比較都市史的研究：  
感染症対策と公衆衛生言説を中心に

**報告会 感染症と災禍をめぐる経験と記憶**

日時：2022年3月26日（土） 14：00～18：00

場所：神戸大学文学部 A棟1階・学生ホール  
（ZOOMでも同時開催）

ZOOMリンク：

[https://kobe-u-ac-jp.zoom.us/j/85302603570?  
pwd=TnlISzZnU3RGMUtnYnR6Z2xKdW1FUT09](https://kobe-u-ac-jp.zoom.us/j/85302603570?pwd=TnlISzZnU3RGMUtnYnR6Z2xKdW1FUT09)

ミーティングID：853 0260 3570

パスコード：neko

主催：神戸大学大学院人文学研究科社会学教室

共催：神戸大学海港都市研究センター

連絡先：佐々木祐 [tskssk@lit.kobe-u.ac.jp](mailto:tskssk@lit.kobe-u.ac.jp) （内5515）

# 報告タイトル

## 第1部 感染症という経験

1. 野中康生（神戸大学文学部・3回生）  
災禍の学校における諸現象の社会学的考察
2. 崎山航志（神戸大学文学部・3回生）  
情報伝達メディアの性質とコミュニケーション：  
感染症についての報道に着目して
3. 沖本暁子（神戸大学文学部・3回生）  
1920年における流行性感冒とコレラの報道について：  
『神戸又新日報』による比較
4. 佐々木祐（神戸大学）  
コレラ禍における大学生の生活と学び：質問紙調査を中心に

## 第2部 港湾と労働の記憶

1. 小谷真知代（大阪市立大学都市研究プラザ）  
波止場からウォーターフロントへ：神戸港における労働の景観
2. 原口剛（神戸大学）  
そして誰もいなくなった？：港湾における機械化と労働者の身体

## 第3部 厄災と社会変容

1. 川口ひとみ（神戸大学）  
明治期伝染病における神戸華僑の衛生管理と埋葬
2. 藤岡達磨（関西学院大学先端社会研究所）  
パンデミック下の中国人住民：  
コロナ禍における「外国人」との諍いの構造
3. 連興檣（深圳大学）  
コロナ禍における中国社会の変化：深圳を中心に
4. 金貞蘭（オックスフォード大学）  
Cholera epidemics in Modern Korea and Japan:  
The Biopolitics of Hatred